

調査結果情報

豊岡市 コウトリ共生部
(農業共済課・農林水産課・
コウトリ共生課・地籍調査課)
豊岡農業改良普及センター
たじま農業協同組合

◆ 概況

田植後の好天により生育が進んでいます。
株張りも良く、草丈の伸びも良い反面、できすぎになることが心配されます。

◆ 調査結果の概要 【6月21日調査】

調査地域	病気の発生状況（25株調査）	害虫の発生状況（払い落とし又はすくい取り）
豊岡	現在のところ病気の発生は確認されていません	イネミズゾウムシの発生が見られますが、被害の発生するほどではありません。イナゴの発生がやや多いようです。
城崎	現在のところ病気の発生は確認されていません	特に目立った害虫の発生はありません
竹野	現在のところ病気の発生は確認されていません	ヒメトビウンカの発生が少し見られますが、被害の心配はありません
日高	現在のところ病気の発生は確認されていません	イナゴの発生がやや多いようです
出石	現在のところ病気の発生は確認されていません	特に目立った害虫の発生はありません
但東	現在のところ病気の発生は確認されていません	イネミズゾウムシの発生が見られますが、被害の発生するほどではありません。

◆ 病虫害発生状況と今後の管理について

☆ いもち病

葉いもち病の発生は確認されていません。今後の天候により、いもち病が発生することも予測されるので、ほ場をよく観察しましょう。

☆ 紋枯病

紋枯病の発生は確認されていません。紋枯病は暑くなる頃、発生が多くなるので、ほ場をよく観察しましょう。

☆ ウンカ類

ウンカの発生は少ない状況です。

☆ カメムシ類

今回の調査では発生が確認されませんでした。カメムシの生息場所の畦畔のイネ科雑草は穂をつけないようこまめに草刈りを行いましょう。

☆ 農薬を散布する場合、隣接する野菜ほ場などに飛散しないように注意しましょう。

田んぼのいきもの情報

調査ほ場では、水田での作物中の昆虫類や水の中の生物、土壌中の生物の数と種類を調査しました。



アカトンボのヤゴ

6月下旬の水田では、水中の生きものが活発に活動しています。ヤゴ類、ゲンゴロウ幼虫、コミスミシなどの種類が見られました。また、オタマジャクシも足が生えて陸に上がってくるものも増えていきます。これらの生きものの多くは、今後田んぼの害虫の天敵として活躍が期待されます。



ヒメミズカマキリ